

令和3年度教育研究活動報告書

氏名	西嶋亜美	所属	芸術文化学部美術学科
学位	博士（文学）	職位	准教授
専門分野	西洋美術史（フランス近代美術史）		

I 教育活動	
本年度担当科目	
	授業科目
学部	西洋美術史講義（通年）、西洋美術史講義Ⅰ（前期）Ⅱ（後期）、博物館入門（前期）、美学（通年）、美術表現入門（後期・オムニバス）
大学院	芸術学特講（通年）、美術史特講（西洋）（通年）
II 研究活動	
現在の研究テーマ（3つまで）	
（1）ドラクロワの物語画と文学	
（2）19世紀中盤のフランス絵画における反復と再制作	
本年度を含む過去3年間の研究業績 R3・R2・R1	
R3	<p>〈翻訳〉西嶋亜美「ドラクロワ「ブッサン論」試訳」『尾道市立大学芸術文化学部紀要』21号、2022年3月、67-80頁（仮）</p> <p>〈報告書〉西嶋亜美「国際シンポジウム「ポスト印象派から高世代に継承されたユートピアの表象」報告書」『日仏美術学会会報』2022年、掲載予定</p>
R2	<p>〈発表〉西嶋亜美「19世紀フランス美術にみる「室内」の演出」リアリズム文学研究会オンライン・シンポジウム「室内—私空間の近代」2021年1月24日 招待有り</p> <p>〈発表〉西嶋亜美「ドラクロワ作《キリストの埋葬（墓のキリスト）》（ボストン美術館）「一宗教画制作を通じた表現の刷新の手がかりとして—」日仏美術学会第158回例会「19世紀における宗教美術」2020年12月19日</p>
R1	<p>〈報告書〉吉原慎他「「はじまりのかたち 素描」展 報告書」『尾道市立大学芸術文化学部紀要』（19）2020年3月、57-66頁。</p> <p>〈報告書〉藤本真理子・西嶋亜美「絵を語る作家たち—近代日本における絵画と文学のあいだ—」『尾道文学談話会会報』（10）101-119 2020年3月、101-119頁。</p> <p>〈報告書〉西嶋亜美・藤本真理子「4月13日開催「沈黙研究会」@ MOU 尾道市立大学美術館 報告書」『尾道市立大学芸術文化学部紀要』（19）2020年3月、101-106頁。</p>
H30以前の主な研究業績	
(1) H30	<p>〈論文〉西嶋亜美「「小説」をもとに「詩」的な絵画は可能か—『アイヴァンホー』をめぐるドラクロワの挑戦—」『尾道市立大学芸術文化学部紀要』、第18号、2019年、予定。</p>
(2)	<p>〈報告書〉西嶋亜美・藤本真理子（沈黙研究会）「無への挑戦」、『尾道市立大学芸術文化学部紀要』、第18号、2019年、予定。</p>
(3) H29	<p>〈論文〉西嶋亜美「19世紀中盤の「反復」制作とドラクロワ—自作の「反復」の諸相—」、『尾道市立大学芸術文化学部紀要』、第17号、2018年、153-167頁</p>
(4)	<p>〈報告書〉西嶋亜美「造形芸術における描写とリアリズム」『19世紀文学とリアリズム 研究会報告書』（リアリズム文学研究会）2018年3月、59-62頁</p>
(5)	<p>〈コメンテーター〉西嶋亜美「フランス近代美術の立場からのリアリズム」公開研究会「19世紀文学とリアリズム」京都大学、（2018年2月3日）〔招待あり〕</p>
(6) H28	<p>〈学位論文〉西嶋亜美「ウジェーヌ・ドラクロワの物語画と文学」京都大学大学院文学研究科課程博士論文、全304頁、2016年11月、全307頁</p>
(7)	<p>〈翻訳・解題〉西嶋亜美「ドラクロワの「モロッコ旅行記」試訳」『尾道市立大学芸術文化学部紀要』第16号、2017年、69-85頁（予定）（査読なし）</p>
(8)	<p>〈論文〉西嶋亜美「19世紀前半のフランスで「文学作品を描く」こと—歴史的背景とジャンルの問題—」『尾道市立大学芸術文化学部紀要』、第15号、2016年、71-81頁</p>
(9)	<p>〈論文〉西嶋亜美「ドラクロワの「日記」における絵画と文学の位置付け—主題、表現形態、制作過程の三つの観点から—」『藝術研究』（広島芸術学会会誌）2015年、(28)、31-45頁</p>
(10)	<p>〈論文〉西嶋亜美「ドラクロワによる二点の《ジャールとハッサンの闘い》—戦闘イメージの起源と北アフリカ旅行の意義をめぐる考察—」『日仏美術学会会報』（34）、2015年、3-23頁〔査読あり〕</p>
(11)	<p>〈学会発表〉西嶋亜美「ドラクロワ作《十字軍のコンスタンティノープル攻略》—歴史的細部の再現と普遍性—」第68回 美術史学会全国大会、岡山大学（2015年5月23日）〔レジュメ審査あり〕</p>

(12) 〈報告書〉西嶋亜美「ドラクロワ作《トラヤヌス帝の正義》——知的文化的潮流から絵画へ——」 『鹿島美術研究年報別冊』、2014年11月、153-163頁			
(13) 〈学会発表〉西嶋亜美「ドラクロワの著述にみる文学と絵画」広島芸術学会第28回総会・大会、 ひろしま美術館（2014年7月26日）			
(14) 〈学会発表〉西嶋亜美「ウジェーヌ・ドラクロワによるバイロン作『邪宗徒』諸作品の再考」 日仏美術学会第130回例会、東京日仏会館（2014年2月8日）			
(15) 〈論文〉西嶋亜美「ドラクロワ作「墓地のハムレットとホレーシオ」諸作品をめぐって—演劇の豊饒さから 絵画独自の効果へ—」、『美術史』第172冊、2012年、173-191頁〔査読あり〕			
(16) 〈学会発表〉NISHIJIMA, Ami L'emploi des théories littéraires et artistiques dans la représentation du monde antique autour de Delacroix, Ecole de Printemps, 10e édition Art et Savoir, Paris, Centre Allemand de l' Histoire de l' Art, (2012/5/18)〔レジュメ審査あり〕			
(17) 〈論文〉西嶋亜美「ドラクロワによる「挿絵」連作《ファウスト》—複数の着想源と技法革新の統合の試み—」、 『京都美学美術史学』第9号、2010年、141-172頁〔査読あり〕			
学会、所属団体における活動（本年度を含む過去3年間の研究業績） R1・R2・R3			
所属学会・所属団体 役職等と任期			
日仏美術学会（実行委員）、美術史学会、Association of Historians of Nineteenth-Century Art、 美学会、広島芸術学会			
IV 社会活動			
1. 学外活動（本年度1年間の活動状況）			
(1) AIRZine編集室参加、原稿執筆。			
(2) 〈漫画解説〉中原たか穂『ジェリコー』（KADOKAWA、2021年12月発行）、 西嶋亜美「十九世紀絵画にジェリコーが残したもの」248-252頁。			
(3) 〈外部市民講座〉NHK京都文化センター「美の旅 アートの達人になる」 原田平作・梶川強、ゲスト講師として7月9日（金）「ドラクロワ」回に遠隔出演。			
公開講座		回	
講演会		回	
出前授業		回	
その他（ ）		1回	
（公開講座・後援会・出前授業に関するもの、その他特記事項があれば記入）			
(3) 大阪大学名誉教授原田先生のご紹介で、教養講座のゲスト講師としてドラクロワの旅を紹介した。 熱心な受講生が多く刺激的であった。			
（NGO・NPO活動、国際交流・協力活動、ボランティア活動等その他特記事項があれば記入）			
(1) AIR Zine編集室では、啓文社新浜店での選書は終わってしまったが、引き続きZineの発行に向けて活動に 加わっている。			
(2) アウトリーチ活動として、依頼をいただいてロマン主義を題材とした漫画に解説を書いた。漫画も非常に 意欲的な作品であり、面白い仕事だった。			
2. 委員会及び協議会委員（本年度1年間の活動状況）			
	委員会等の名称	委員長・委員等の別	出席回数（回）
(1) 尾道市関係	尾道市歴史的風致維持向上計画推進協議会	委員	4回